

北本市みんな いきいき！健康なまちづくりプラン  
(健康増進計画・食育推進計画)

最終評価報告書(案)

令和5年3月

北本市

# 目次

第1章 はじめに.....	2
1 健康増進計画・食育推進計画策定の趣旨.....	2
2 中間見直しの概要.....	4
第2章 最終評価.....	6
1 最終評価の目的と評価方法.....	6
(1) 最終評価の目的.....	6
(2) 最終評価の方法.....	6
2 総括的評価.....	6
3 全体の目標達成度評価.....	7
4 分野別の評価.....	9
(1) 健やかなからだ.....	9
(2) 健やかな暮らし.....	13
(3) 健やかなまち.....	16
第3章 次期計画策定に向けての課題.....	18
1 重点的に取り組む項目.....	18
2 目標の設定について.....	18
3 事業の取り組み方法.....	18
第4章 参考資料(事業実施状況).....	20

# 第1章 はじめに

## 1 健康増進計画・食育推進計画策定の趣旨

わが国は平均寿命の水準は世界でも最上位の国となりましたが、一方で、がんや循環器疾患などの生活習慣病の増加や高齢化の影響により、医療・介護にかかる費用負担の増大が深刻な問題となっております。

こうした中で、北本市(以下「本市」という)は「みんなが生きがいをもち長生きできる心かよいあう健やかなまちづくり」を基本理念とし、平成26(2014)年3月に北本市健康増進計画・食育推進計画(以下「本計画」という)を策定しました。

本計画では、健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)の延伸を目指し、そのために必要な生活習慣病の予防及び社会生活を営むために必要な機能の維持・向上についての取り組みの方向性を「健やかなからだ」「健やかなくらし」「健やかなまち」の領域に分けて設定しました。さらにその領域ごとに9つの分野、課題となる15項目の目標を定め、目標達成に向けて施策を展開してきました。

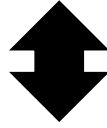
計画期間 平成 26(2014)年度から令和 5(2023)年度

年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
進行管理	<b>実施期間</b> 									
					中間見直し					最終評価

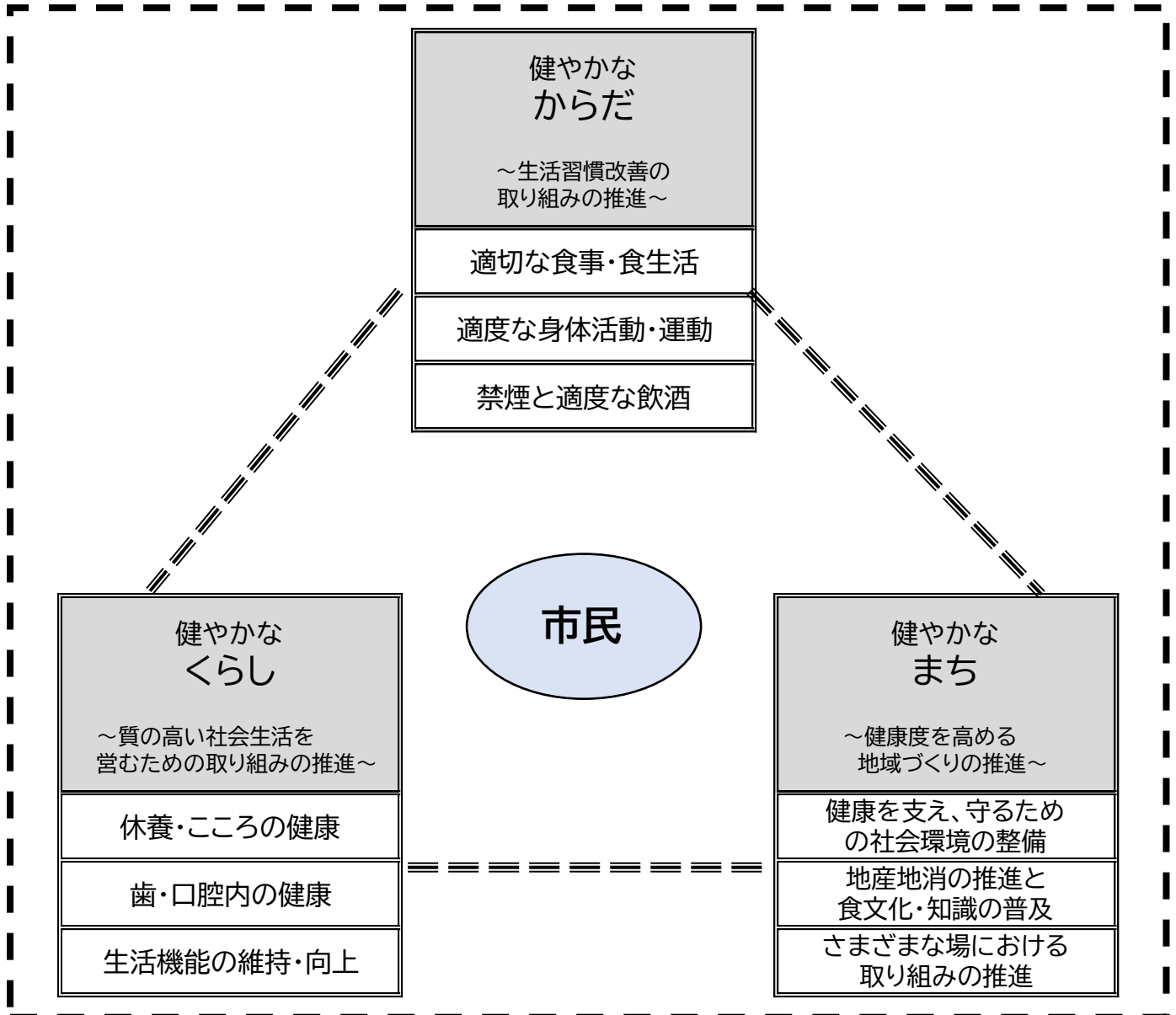
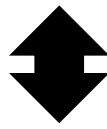
<計画の体系>

<基本理念>

「みんなが生きがいをもち長生きできる心かよいあう健やかなまちづくり



- 基本目標1 ◎生涯にわたっていきいきと輝こう！
- 基本目標2 ◎おいしく楽しく食べて元気になろう！
- 基本目標3 ◎地域で健康づくりの輪をひろげよう！



## 2 中間見直しの概要

本計画の開始 5 年目にあたる平成 30(2018)年度に、目標の達成状況や健康づくりを取り巻く社会情勢の変化に対応するため、計画期間の中間見直しを実施しました。

成果指標の目標値を達成していた項目は 15 項目中 2 項目、目標値は達成できなかったが、数値の向上や事業の充実(新規事業の実施または事業内容の拡充)が図れた項目が 15 項目中 7 項目となっていました。

計画策定により、既存事業の充実や新規事業が多く展開され、健康づくりの広がりを見せました。

中間見直しの結果を踏まえ、重点的に取り組む施策を決め、計画前半での土台づくりが、目標達成につながるよう、後期計画の推進を図りました。

### 《中間見直し後の施策の方向性》

#### ① 「歯・口腔内の健康」に重点的に取り組む




全市民を対象にしやすく、成果が比較的出つつある「歯・口腔内の健康」について重点的に取り組みます。

「歯・口腔内の健康」は、「自助」として個人で取り組みやすい課題です。また、全身の健康に影響するだけでなく、精神的、社会的な健康へも寄与するため、健康づくり全体の底上が期待できます。




#### ② 関係各課、関係機関・団体、民間企業との連携の強化

お互いの事業を理解し、活用しあう仕組みづくりを行います。健康づくりをまちぐるみで行うことが、目標の達成に繋がります。それぞれの強みや限られた予算、マンパワーを最大限に生かすために、関係各課、関係機関・団体、民間企業と連携していきます。

<達成状況とりまとめ>

分野	項目	達成状況		
				
健全からだ	栄養のバランスに気を配っている人の割合を増やす		○	
	30歳未満の女性のやせの割合を減らす			○
	日常生活において身体を動かすようにしている人の割合を増やす		○	
	たばこを吸う人の割合を減らす		○	
	アルコールを毎日飲む人の割合を減らす			○
	特定健康診査・特定保健指導実施率を増やす		○	
	メタボリックシンドロームの該当者割合を減らす			○
健全くらし	睡眠や休養を十分にとれている人の割合を増やす		○	
	3歳児健康診査でむし歯がない子どもの割合を増やす	○		
	12歳児の1人平均むし歯数を減らす	○		
	むし歯や歯周病予防に注意している人の割合を増やす		○	
	要支援・要介護認定者の割合を抑制する		○	
健全まち	地域に助けられた、支えられたと感じた経験のある人の割合を増やす	設問項目の変更により判定不能		
	学校給食における北本産食材の使用割合を増やす			○
	いつも親子で楽しみながら食べる家庭の割合を増やす	現時点では判定不能		
合計		2	7	4

<評価の凡例>

	目標値が達成できた。
	目標値は達成できなかったが、数値が向上した。 または、計画策定後、事業の充実(新規事業の実施または事業内容の拡充)が図れた。
	目標値が達成できなかった。 既存事業の継続にとどまった。

## 第2章 最終評価

### 1 最終評価の目的と評価方法

#### (1) 最終評価の目的

本計画の最終評価は、策定時に定めた目標の達成状況や関連する取組の状況の評価するとともに、次期計画の策定に反映させることを目的としています。

#### (2) 最終評価の方法

本計画における「成果指標」に基づき、以下のとおり評価を行います。

##### 【評価項目】

目標値	「成果指標」に対して、目標値に達成しているか。
中間見直しとの比較	中間見直しの数値と比較して、改善されているか。
事業実施状況	過去の事業実施状況と比較して、事業の充実や拡大が図れているか。 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、事業縮小・中止は除く

##### 【判定基準】

A	目標値が達成できた
B	目標値は達成できなかったが、数値が改善された。 中間見直しの数値から改善された。
C	目標値が達成されなかったが、事業の充実(新規事業の実施または事業内容の拡大)が図れた。
D	目標値が達成されなかった。 既存事業の継続にとどまった。
E	評価困難(指標の数値が未確定)

### 2 総括的評価

本計画が目指す健康寿命の延伸については、本計画策定時に比べ、男性においては+1.36歳、女性においては+1.53歳となり、目標を達成しています。

同時期の埼玉県における健康寿命の延伸状況と比較すると、男性で1.33倍、女性で1.68倍となっています。

## ■健康寿命■

	平成 25 年 (2013 年)		平成 28 年 (2016 年)		令和 2 年 (2020 年)
男性	17.31 歳 (県:16.85 歳)	0.47 歳延伸 ➡	17.78 歳 (県:17.40 歳)	0.89 歳延伸 ➡	18.67 歳 (県:17.87 歳)
女性	19.34 歳 (県:19.75 歳)	0.84 歳延伸 ➡	20.18 歳 (県:20.24 歳)	0.69 歳延伸 ➡	20.87 歳 (県:20.66 歳)

※ 埼玉県における健康寿命の定義「65 歳に達した県民が健康で自立した生活を送る期間」具体的には『要介護 2』以上になるまでの期間

※ 参考「埼玉県の健康寿命(埼玉県 HP)」

### 3 全体の目標達成度評価

本計画の基本理念は「みんなが生きがいをもち長生きできる心かよいあう健やかなまちづくり」であり、「健やかなからだ」「健やかなくらし」「健やかなまち」の3つの分野に分け、それぞれ目標を掲げています。

全体として、分野別目標値を達成している項目は 15 項目中 3 項目となり、目標値には達していないが、改善傾向にある項目は 15 項目中 4 項目となりました。

結果として全体の割合から見ると、半数近くを占める項目が改善傾向にあります。

分野別の達成状況ですが、「健やかなからだ」「健やかなくらし」に関する項目は、目標に達している・改善傾向にある項目が多くありますが、「健やかなまち」に関する項目は、悪化している項目が半数を超えているため、次期計画策定の際に、重点的に取り組む必要があると考えられます。

中間見直し後の方向性として、重点的に取り組む施策となっていた、「歯・口腔内の健康」に関する 3 項目のうち、「目標値に達している」項目が 2 項目、「目標値に達していないが、改善傾向にある」項目が 1 項目となっており、重点的に取り組むことが出来ていたと判断できます。

各事業の状況については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年度より新規事業の実施や既存事業の拡大を行うことが困難となっています。

令和4(2022)年現在、既存事業については、感染症拡大防止対策を講じながらの事業実施や人数制限を設けるなど、一部の事業が再開している状況です。



## <本計画における目標値の達成状況>

判定	項目数	割合
A 目標値が達成できた	3	20.0%
B 目標値は達成できなかったが、数値が改善された。 中間見直しの数値から改善された。	4	26.7%
C 目標値が達成されなかったが、事業の充実(新規事業の実施または事業内容の拡大)が図れた。	3	20.0%
D 目標値が達成されなかった。 既存事業の継続にとどまった。	4	26.7%
E 評価困難(指標の数値が未確定)	1	6.6%
合計	15	100.0%

## <分野別の目標達成状況>

分野	項目	判定				
		A	B	C	D	E
健やかなからた	栄養のバランスに気を配っている人の割合を増やす			○		
	30歳未満の女性のやせの割合を減らす		○			
	日常生活において身体を動かすようにしている人の割合を増やす		○			
	たばこを吸う人の割合を減らす		○			
	アルコールを毎日飲む人の割合を減らす			○		
	特定健康診査・特定保健指導実施率を増やす			○		
	メタボリックシンドロームの該当者割合を減らす				○	
健やかなくらし	睡眠や休養を十分にとれている人の割合を増やす				○	
	3歳児健康診査でむし歯がない子どもの割合を増やす	○				
	12歳児の1人平均むし歯数を減らす	○				
	むし歯や歯周病予防に注意している人の割合を増やす		○			
	要支援・要介護認定者の割合を抑制する	○				
健やかなまち	地域での支えあい、助け合い(共助)ができていると思う市民の割合を増やす				○	
	学校給食における地場産物の使用割合を増やす				○	
	いつも親子で楽しみながら食べる家庭の割合を増やす					○
合計		3	4	3	4	1

## 4 分野別の評価

### (1) 健やかなからだ

#### 1 適切な食事・食生活

##### 目標① 栄養バランスに気を配っている人の割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
栄養のバランスに気を配っている人の割合を増やす	52.1% 【H23】	42.6% 【H29】	43.1% 【R3】	60.0%	C	北本市まちづくりアンケート

##### <主な取組み>

- 食に関する講演会
- 栄養バランス満点教室
- 食生活改善委託事業
- ヘルスアップセミナー
- 健康長寿サポーター養成講座
- 離乳食教室栄養講話・相談

##### 【項目に対する評価・課題】

「栄養バランスに気を配っている人の割合」は、中間見直し時と比較してもほぼ横ばいとなっており、目標値に達しませんでした。

食生活の改善は、知識を得ても行動変容が難しいことから、今後も、普及啓発活動だけでなく、行動に結びつけやすいように働きかけを検討していく必要があります。

健康日本21(第二次)では、国や自治体において食生活に関する実態把握と分析が進んでいます。今後は、更に分析を対策に結びつけて効果的な事業実施を行うことが課題です。

また、この10年間で社会経済的な背景による栄養・食生活の格差が指摘されており、ライフスタイルや生活様式の多様化していることから、栄養格差の縮小に向けては、保健推進部門だけではなく、幅広い部局との連携による生活が困難な人への取組や環境整備が必要です。

##### 目標② 30歳未満の女性のやせの割合を減らす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
30歳未満の女性のやせの割合を減らす	20.7% 【H24】	30.2% 【H29】	21.9% 【R3】	20% 未満	B	30代までの健康力アップ健診(女性)結果

### <主な取組み>

○30代までの健康力アップ健診(女性)

○30代までの健康力アップ健診(女性)事後相談会、事後講座

### 【項目に対する評価・課題】

「30歳未満の女性のやせの割合」は、目標値に達していませんが、中間見直し時と比較すると改善傾向にあります。

データソースにしている対象者年齢人口の減少、就労状況の変化等社会情勢の変化により、今後数値目標値が項目について反映し得るかどうか検討が必要と考えます。

国は、やせ型の若年女性を減らすための対策強化として令和4年度から体形の意識や食事内容、生活習慣を把握する大規模調査が開始されており、調査結果を踏まえ、実態に合った事業内容を検討していく必要があります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、ライフスタイルの多様化で、若い世代が集まって知識の普及する場が減ってきています。今後は、社会情勢に合わせICTを活用するなど、様々な方法の普及啓発を検討し、将来の生活習慣病の予防や食生活改善に向けた行動変容に繋がられるような事業を実施する必要があります。

## 2 適度な身体活動・運動

目標 日常生活において身体を動かすようにしている人の割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
日常生活において身体を動かすようにしている人の割合を増やす	42.6% 【H23】	40.4% 【H29】	42.4% 【R3】	60.0%	B	北本市まちづくりアンケート

### <主な取組み>

○めざせ！毎日1万歩運動

○スポーツ教室及び各種大会

○北本さくらウォーク

○**新規** 健康スタンプ事業(平成30年度～)

○**新規** 健康増進教室参加費用助成金事業(令和3年度～)

### 【項目に対する評価・課題】

「日常生活において身体を動かすようにしている人の割合」は計画策定時から変化が見られませんでした。中間見直し時と比較すると改善傾向にあります。

新規事業の実施もありましたが、新型感染拡大の影響により、参加者が減少傾向となりました。

主な取組みには、インセンティブとなる健康ポイントを実施することで、楽しみながら継続的な運動習慣の促進につながるものもあり、ICTを活用した普及啓発や生活様式の多様化に対応できるよう誰でも参加しやすい事業を検討していく必要があります。

### 3 禁煙と適度な飲酒

#### 目標① たばこを吸う人の割合を減らす

項目	計画 策定時	中間 見直し	最終 評価	目標値	判定	データ ソース
たばこを吸う人の割合を減らす	男性 23.7% 女性 5.6% 【H24】	男性 23.0% 女性 5.6% 【H29】	男性 20.3% 女性 5.0% 【R3】	男性 20%未 満 女性 5%未満	B	北本市特 定健康診 査結果

#### <主な取り組み>

- 健康長寿サポーター養成講座
- 乳児健診アンケート(妊娠中のたばこの接種について)による現状把握
- がん検診の会場などで、肺がんやたばこの害に関する冊子を設置

#### 【項目に対する評価・課題】

「たばこを吸う人の割合」は、目標値に達していませんが、男性・女性共に、改善傾向にあります。普及啓発の取り組みにより、たばこが健康に及ぼす影響や受動喫煙の防止について広く周知することができました。

目標達成には至りませんでした。徐々に成果が出ているため、今後も継続して普及啓発や行動変容に繋がるような事業を実施する必要があります。

#### 目標② アルコールを毎日飲む人の割合を減らす

項目	計画 策定時	中間 見直し	最終 評価	目標値	判定	データ ソース
アルコールを毎日飲む人の割合を減らす	23.5% 【H24】	24.4% 【H29】	23.9% 【R3】	20%未 満	C	北本市特 定健康診 査結果

#### <主な取り組み>

- 健康長寿サポーター養成講座
- 乳児健診アンケート(妊娠中のアルコール摂取について)による現状把握

#### 【項目に対する評価・課題】

「アルコールを毎日飲む人の割合」は、計画期間中に大きな変化は見られず、目標値に達しませんでした。

事業や普及啓発を通して、過度なアルコール摂取による身体へ及ぼす影響やアルコールについての正しい知識と適切な向き合い方を周知しましたが、行動変容に繋がった人は多くないように思えます。引き続き、普及啓発や行動変容に至るまでの事業を実施する必要があります。

#### 4 生活習慣病の予防対策

##### 目標① 特定健康診査・特定保健指導実施率を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
特定健康診査・特定保健指導実施率を増やす	健康診査 37.4% 保健指導 14.3% 【H24】	健康診査 42.6% 保健指導 9.3% 【H29】	健康診査 42.0% 保健指導 14.9% 【R3】	60% (特定健康診査実施計画に準ずる)	C	北本市特定健康診査結果

##### <主な取り組み>

- 北本市特定健康診査(6～9月実施)
- 北本市特定保健指導(11～3月実施)
- 受診率向上のための、広報・受診勧奨・普及啓発活動の実施

##### 【項目に対する評価・課題】

「特定健康診査実施率」及び「特定保健指導実施率」については、計画策定時からほぼ横ばいとなっており、目標値に達しませんでした。

特定健康診査等実施計画に目標値が定められているため、目標値に近づけていくための工夫や改善が必要になります。

特定健康診査については、未受診者への効果的な受診勧奨、継続受診に繋がるような情報提供を行い、特定保健指導については、実施者が利用しやすい環境整備、質の確保に努めていきます。

##### 目標② メタボリックシンドロームの該当者割合を減らす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
メタボリックシンドロームの該当者割合を減らす	男性 24.3% 女性 9.7% 【H24】	男性 27.5% 女性 9.7% 【H29】	男性 32.8% 女性 13.1% 【R3】	男性 26.6% 女性 9.3%	D	北本市特定健康診査結果

##### <主な取り組み>

- 脂質異常症・高血圧教室
- 糖尿病予防教室・フォローアップ事業
- メタボリックシンドロームの該当者への特定保健指導の実施

##### 【項目に対する評価・課題】

「メタボリックシンドロームの該当者割合」は、目標値に達しておらず、計画策定及び中間見直し時の数値より悪化しています。

メタボリックシンドロームの該当者は年々増加しており、中間見直しからも増加傾向にあります。  
また、最終評価を行った令和3(2021)年度は、定期的な運動を行っている人の割合が減少しており、国や埼玉県も同様の傾向となっていました。

全国的にも大きな課題となっていると考えられ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動量が減少した結果、メタボリックシンドロームの該当者が増加した可能性があります。

国や埼玉県の動向を注視し、目標達成に向けた効果的なプログラムやツールの展開等の取り組みを検討する必要があります。

## (2) 健やかな暮らし

### 1 休養・こころの健康

目標 睡眠や休養を十分にとれている人の割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
睡眠や休養を十分にとれている人の割合を増やす	54.7% 【H23】	42.3% 【H29】	46.2% 【R3】	63.0%	D	北本市まちづくりアンケート

#### <主な取り組み>

- こころの相談
- ゲートキーパー養成講座
- 街頭キャンペーン
- 暮らしとこころの総合相談会
- こころの健康に関する講演会
- こころの体温計

#### 【項目に対する評価・課題】

「睡眠や休養を十分にとれている人の割合」は、計画策定時から減少していますが、中間見直し時と比較すると改善傾向にあります。

こころの健康と睡眠・休養は密に関係があり、こころの不調の影響で十分な休養が取れなくなることがあるため、睡眠習慣の正しい知識や健康づくりにおける休養について、普及啓発の在りかたを再検討し、計画的に事業をすすめていく必要があります。

本市では、人口10万対自殺死亡率が国や埼玉県より高い傾向が続いています。

自殺の危機要因となる、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立など、様々な問題に対処することと併せて、全ての人がかげがえのない個人として尊重され、生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、「生きることの包括的支援」を目指し、平成30年度に策定した北本市自殺対策推進計画と連動性をもたせながら、市民のこころの健康につなげていく必要があります。

## 2 歯・口腔内の健康

### 目標① 3歳児健康診査でむし歯がない子どもの割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
3歳児健康診査でむし歯がない子どもの割合を増やす	85.5% 【H24】	91.8% 【H29】	91.0% 【R3】	90%	A	母子保健統計

#### <主な取り組み>

- 1歳6か月健康診査
- 3歳児健康診査
- 9か月児育児相談歯科指導
- フッ素塗布事業
- 歯科保健講座

#### 【項目に対する評価・課題】

「3歳児健康診査でむし歯がない子どもの割合」は、目標値を達成しました。

毎年の安定した健診事業の実施や保健指導により、目標値達成に繋がっていると考えられます。

今後も維持向上できるように、普及啓発や事業を継続していく必要があります。

### 目標② 12歳児の1人平均むし歯数を減らす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
12歳児の1人平均むし歯数を減らす	1.26 歯 【H23】	0.88 歯 【H29】	0.61 歯 【R3】	1.0 歯 未満	A	学校保健統計

#### <主な取り組み>

- 保育所歯科健診・歯科指導・フッ化物洗口
- 学校歯科健診・歯科指導・フッ化物洗口

#### 【項目に対する評価・課題】

「12歳児の1人平均むし歯数」については、目標値を達成しました。

保育所や学校での歯科健診・歯科指導については、感染拡大防止対策をして実施することができましたが、フッ化物洗口は新型コロナウイルス感染症拡大により中止している状況です。

目標値の維持向上のため、普及啓発や事業実施を継続していく必要があります。

目標③ むし歯や歯周病予防に注意している人の割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
むし歯や歯周病予防に注意している人の割合を増やす	37.4%【H23】	40.4%【H29】	46.6【R3】	60.0%	B	北本市まちづくりアンケート

<主な取り組み>

- マタニティセミナー前期
- 集団歯科健康診査
- 8020 よい歯のコンクール

【項目に対する評価・課題】

「むし歯や歯周病予防に注意している人の割合」は、目標値には届きませんでした。年々改善傾向にあります。

主な事業として実施していました、集団歯科健康診査については、令和4(2022)年度から個別歯科健康診査に変わり、より多くの市民の方に受診してもらえるような体制を整えました。

乳幼児期や学童期とは異なり、成人期の歯と口腔内の健康は、目標値達成に至らなかったため、今後も事業改善を行い、歯科健康診査の受診促進に向けて重点的に取り組みを強化します。

また、定期的に歯科健康診査や歯科医療を受けることが困難な方に対する歯科保健医療サービスの確保や充実について再検討する必要があります。

3 生活機能の維持・向上

目標 要支援・要介護認定者の割合を抑制する

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
要支援・要介護認定者の割合を抑制する	12.8%【H24】	13.0%【H29】	14.3%【R3】	15.8%以下	A	介護保険事業状況報告

<主な取り組み>

- 若返り運動教室
- 健康長寿のための運動リーダー養成講座
- 介護予防サポーター養成講座(イキイキとまちゃん体操サポーターの養成講座)
- 介護予防啓発事業
- 地域介護予防活動支援事業

【項目に対する評価・課題】

「要支援・要介護認定者の割合」については、目標値を達成することが出来ましたが、高齢者のうち後期高齢者の割合は増加しているため、今後も一定の増加が予想されます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、運動教室や講座等は集団での事業実施は中止しましたが、



普及啓発や活動支援に関する事業については継続して実施することが出来ました。

しかしながら、要支援・要介護認定者は年々増加傾向にあり、目標値は達成しましたが、割合を抑制出来ているとは言い難い状況です。

高齢者の通いの場への参加、年齢や状況に応じた健康づくり事業を推進していく必要があります。

### (3) 健やかなまち

#### 1 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標 地域での支え合い、助け合い(共助)ができていると思う市民の割合

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
地域での支え合い、助け合い(共助)ができていると思う市民の割合 ※中間見直して目標項目を修正	—	66.5% 【H29】	61.8% 【R3】	66.5% 以上	D	北本市まちづくりアンケート

<主な取り組み>

- 子育て支援センター利用者数
- サロン活動の開催箇所数
- 健康増進センターの体操教室の開催数
- 重層的支援体制整備事業
- 生活支援体制整備事業

#### 【項目に対する評価・課題】

「地域での支え合い、助け合い(共助)ができていると思う市民の割合」は、中間見直し時から減少しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設の閉鎖や利用制限等や不要不急の外出を控えたことが、地域の交流が減少したと感じる主な原因として考えられます。

地域における交流は、健康づくりにおいても重要であることから、老若男女問わず気軽に参加できる場の提供や周知を行い、つながりの強化推進を図っていく必要があります。

## 2 地産地消の推進と食に関する知識・文化の普及

### 目標① 学校給食における地場産物の使用割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
学校給食における地場産物の使用割合を増やす	31.2%【H24】	29.9%【H29】	27.4%【R3】	30%以上の維持	D	学校給食における地場産物活用状況調査

#### <主な取り組み>

#### ○農業生産者招待給食

#### 【項目に対する評価・課題】

「学校給食における地場産物の使用割合」は計画策定及び中間見直し時より減少しています。

学校給食での地場産物の使用は、量や価格の影響により、目標としている 30%以上の維持が難しい場合もあります。

食育については、関係部署が連携し、共通理解と一貫性を持った食育の推進を図る必要があります。

また、地域の交流を強化するため、市民と行政が協力し、充実したサービス提供を続けていく必要があります。

### 目標② いつも親子で楽しみながら食べる家庭の割合を増やす

項目	計画策定時	中間見直し	最終評価	目標値	判定	データソース
いつも親子で楽しみながら食べる家庭の割合を増やす	63.1%【H25】	55.6%【H30】	R5 年度実施予定	70%	E	子ども子育てニーズ調査

#### <主な取り組み>

#### ○離乳食調理講習

#### ○9 か月育児相談栄養指導

#### 【項目に対する評価・課題】

データソースとなっている「子ども子育てニーズ調査」は、令和 5(2023)年度に実施予定のため、指標から評価することができませんでした。

事業については、継続して実施することが出来たため、今後も普及啓発を含め継続していく必要があります。

本指標のデータソースである「子ども子育てニーズ調査」は、調査実施が評価時期とずれているため、次期計画策定の際には、既存のデータソースを含め、指標を再検討する必要があります。

## 第3章 次期計画策定に向けての課題

### 1 重点的に取り組む項目

#### ○ 「歯・口腔内の健康」に重点的に取り組む

ライフステージ毎の目標を設定し、「自助」として個人で取り組みやすい課題です。

全身の健康に影響するだけでなく、精神的、社会的な健康へも寄与するため、重点的に取り組むことにより健康寿命の延伸や健康格差の縮小が期待されます。

本市では、平成28年3月「北本市歯科口腔保健の推進に関する条例」を定めており、次期計画では、健康増進計画、食育推進計画に「歯科保健推進計画」を組み込み、重点的に取り組みます。

#### ○ 「健康を支え、守るための社会環境の整備」に重点的に取り組む

本計画における最終評価で「健やかなまち」の評価が低く、中でも「地域に助けられた、支えられたと感じた経験のある人の割合を増やす」項目については、年々割合が低くなっているため、次期計画において重点的に取り組む必要があると考えられます。

地域との交流は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少傾向にあります。感染症防止対策を講じるなど、安心して地域と交流できる環境整備が重要となります。

また、高齢化が進む社会において、健康的な生活を維持できるよう、生涯にわたる生活の質や社会生活を営むために必要な機能を維持・向上することも重要となります。

### 2 目標の設定について

目標の設定に当たっては、実態の把握が継続的に可能な具体的目標を設定する必要があります。

具体的な目標は、日常生活に制限のない期間の平均の指標に基づき設定します。

指標の設定は、国や埼玉県の統計やデータベース等を活用し、評価時に指標が取れないことが無いよう設定する必要があります。

### 3 事業の取り組み方法

#### ○ すべての世代が参加できる健康づくり事業の展開

多様化する社会では、様々な健康づくり事業の展開が求められます。

様々なツールを活用し、健康無関心層を含む幅広い世代を対象とした健康づくり事業を検討する必要があります。

また、社会情勢に合わせ、感染症防止対策や時間や場所に囚われない事業の在り方も検討する必要があります。

## ○ 地域や民間企業との連携・協力

健康づくりの推進に当たっては、行政だけでなく、地域や民間企業などの協力が必要です。

関係機関や団体、地域、民間企業と連携し、効果的な取組を行うことで、幅広い健康づくり事業の展開が期待できます。

## ○ デジタル技術の活用

デジタル技術を活用することで、効果的・効率的に健康増進の取組を進めることが期待されます。

事務手続のデジタル化やオンライン・アプリケーションを活用した健康づくり事業を検討する必要があります。

なお、デジタル格差により、健康増進の取組が受けられないことがないように留意する必要があります。

# 第4章 参考資料(事業実施状況)

## 1 健やかなからだ

### (1) 適切な食事・食生活

目標	事業名	実績																備考・補足
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)		33(R3)		
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	
1 適切な食事・食生活	食に関する講演会	1	31	3	361	34	1,871	23	1,364	1	52	4	100	-	-	2	22	R2コロナによる事業縮小のため実施せず
	栄養バランス満点教室	7	113	7	103	5	103	5	134	5	90	5	96	-	-	-	-	R2コロナによる事業縮小のため実施せず
	食生活改善委託事業	14	746	14	737	14	748	13	730	13	714	14	758	-	-	-	-	R2コロナによる事業縮小のため実施せず
	ヘルスアップセミナー	5	112	5	158	5	123	3	72	3	66	3	54	-	-	-	-	R2コロナによる事業縮小のため実施せず
	健康長寿サポーター養成講座	5	88	10	288	7	207	6	201	7	125	1	23	0	0	1	5	
	9か月児育児相談栄養講話・相談	24	256	24	232	24	156	24	200	24	221	24	188	12	113	24	133	
	離乳食教室栄養講話・相談	24	311	24	250	24	280	24	250	24	229	22	197	26	210	24	162	

目標	事業名	実績																備考・補足
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)		33(R3)		
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	
1 適切な食事・食生活	30歳未満の女性のやせの割合を減らす																	
	30代までの健康力アップ健診(女性)	14	497	14	530	15	436	15	455	15	298	15	285	15	93	15	248	
	30代までの健康力アップ健診(女性)事後相談会、事後講座	5	28	2	18	2	18	2	20	2	17	2	17	1	4	2	9	

### (2) 適度な身体活動・運動

目標	事業名	実績																備考・補足
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)		33(R3)		
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	
2 適度な身体活動・運動	めざせ！毎日1万歩運動(運動実技講習、体力測定)	-	-	6	689	54	2,003	35	1,310	14	1,733	19	1,706	-	1,722	-	1,573	R2年度より、運動実技講習、体力測定を中止
	スポーツ教室及び各種大会	通年	2,582	通年	4,408	通年	4,532	通年	4,974	通年	5,335	通年	4,399	通年	581	通年	4,037	
	感動校園きたもとウォーク大会	1	339	1	528	1	454	1	497	1	417	中止		中止		1	346	R3より名称を「北本さくらウォーク」に変更
	健康スタンプ事業									62	229	64	359	-	-	62	88	・回数は教室数 ・R2は新型コロナウイルス感染拡大により、中止
	健康増進教室参加費用助成金事業															7	26	回数は教室数

### (3) 禁煙と適度な飲酒

目標	事業名	実績																備考・補足	
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)		33(R3)			
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		
3 禁煙と適度な飲酒	たばこを吸う人の割合を減らす	健康長寿サポーター養成講座	5	88	10	288	7	207	6	201	7	125	1	23	0	0	1	5	
	乳児健診アンケート調査 妊娠中の母のたばこの接種について	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
			-		1.9%	98.1%	2.9%	97.1%	2.3%	97.7%	2.6%	97.4%	1.9%	98.1%	2.7%	97.3%	1.9%	98.1%	

目標	事業名	実績																備考・補足	
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)		33(R3)			
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		
3 禁煙と適度な飲酒	アルコールを毎日飲む人の割合を減らす	健康長寿サポーター養成講座	5	88	10	288	7	207	6	201	7	125	1	23	0	0	1	5	
	乳児健診アンケート調査 妊娠中のアルコール摂取について	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
			-		1.6%	98.4%	1.3%	98.7%	1.5%	98.6%	1.4%	98.6%	0.6%	99.4%	1.5%	98.5%	0.5%	99.5%	

### (4) 生活習慣病の予防対策

目標	事業名	実績										備考・補足
		26	27	28	29	30	31(R1)	32(R2)	33(R3)			
		受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)	受診(利用者数)(人)			
4 生活習慣病の予防対策	特定健康診査・特定保健指導実施率を増やす	北本市特定健康診査(6~9月実施)	5,584	5,589	5,307	5,152	5,023	4,889	4,519	4,448	R2年度は6月~12月11日まで健診実施 R3年度~は6月~11月で健診実施	
	北本市特定保健指導(11~3月実施)	63	61	60	53	60	77	89	75	R2年度は11月~10月実施 R3年度~は12月~10月で健診実施		

目標	事業名	実績																備考・補足	
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)		33(R3)			
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		
4 生活習慣病の予防対策	メタボリックシンドロームの該当者割合を減らす	脂質異常症・高血圧教室	2	52	2	49	2	43	2	20	2	38	2	23	-	-	2	21	R2年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為に教室を中止し、代替案として脂質異常に関するパンフレットを送付し、個別の健康相談を受け付けることとした。(相談申込件数:0件)
	糖尿病予防教室・フォローアップ事業	16	182	16	200	16	229	16	221	15	204	12	102	5	38	8	59		

## 2 健やかなくらし

### (1) 休養・こころの健康

目標	事業名	実績														備考・補足		
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)	
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)
1 休養・こころの健康	こころの相談	6	9	6	9	5	9	5	10	3	3	5	7	6	5	5	6	
	ゲートキーパー養成講座	4	140	2	81	1	46	1	18	1	34	-	-	3	136	-	-	
	街頭キャンペーン	2	2,000	2	2,000	2	2,000	1	1,000	2	2,000	1	950	-	-	-	-	R3は街頭キャンペーンは中止したが、地域包括支援センター及び市イベントで1510部配布。
	暮らしとこころの総合相談会	2	15	2	15	2	15	2	16	2	20	2	11	2	6	2	4	
	こころの健康に関する講演会	-	-	1	182	1	105	-	-	-	-	1	42	-	-	-	-	
	こころの体温計	6~3月	33,964	4~3月	26,040	4~3月	10,959	4~3月	9,424	4~3月	25,627	4~3月	27,072	4~3月	17,488	4~3月	6,122	

### (2) 歯・口腔内の健康

目標	事業名	実績														備考・補足		
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)	
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)
2 歯・口腔内の健康	1歳6か月児健康診査	24	418	24	408	24	398	24	400	24	378	22	321	25	387	23	392	
	3歳児健康診査 でむし歯がない子どもの割合を増やす	12	423	12	465	12	390	12	418	12	371	11	378	13	436	12	365	
	9か月児育児相談歯科指導	24	256	24	232	24	156	24	200	24	302	22	283	12	156	24	284	
	フッ素塗布	12	264	12	225	12	216	12	197	12	161	11	144	10	133	12	135	
	歯科保健講座	1	18	1	43	1	41	1	63	1	88	1	97	-	-	-	-	R2-3はコロナの為未実施

目標	事業名	実績									備考・補足			
		26	27	28	29	30	31(R1)	32(R2)	33(R3)					
		回数(回)	回数(回)	回数(回)	回数(回)	回数(回)	回数(回)	回数(回)	回数(回)					
2 歯・口腔内の健康	12歳児の1人平均むし歯を減らす	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	1~2	
	保育所歯科健診・歯科指導	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	児童生徒一人当たりの回数

目標	事業名	実績														備考・補足		
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)	
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)
2 歯・口腔内の健康	むし歯や歯周病予防に注意している人の割合を増やす	4	29	4	27	4	19	4	15									
	集団歯科健康診査・歯科指導	2	83	2	122	4	170	4	186	4	230	4	235	4	208	4	193	
	8020よい歯のコンクール	-	-	-	-	1	14	1	13	1	21	1	25	-	-	1	12	R2は新型コロナウイルス感染拡大のため中止

### (3) 生活機能の維持・向上

目標	事業名	実績														備考・補足			
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)		
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)	
3 生活機能の維持・向上	要支援・要介護認定者の割合を抑制する	いきいき健康教室	48	753	48	585	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		若がえり運動教室(H26は生活体力アップ教室)	11	118	12	273	12	186	18	286	10	196	10	212	-	-	10	223	
		健康長寿のための運動リーダー養成講座(H26はラダーステップ運動リーダー養成講座)	1	12	1	22	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		介護予防サポーター養成講座(イキイキとまちゃん体操サポーターの養成講座)	-	-	-	-	-	-	8	39	8	322	16	382	-	-	-	-	
		介護予防啓発事業	13	452	9	243	8	289	5	130	7	257	8	217	2	36	2	24	
		地域介護予防活動支援事業	-	-	-	-	4	130	3	65	4	123	3	31	4	61	4	56	

## 3 健やかなまち

### (1) 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標	事業名	実績														備考・補足			
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)		
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)	
1 健康を支え、守るための社会環境の整備	地域に助けられたり、支えられたと感じた経験のある人の割合を増やす	子育て支援センター利用者数	-	26,805	-	27,152	-	23,670	-	25,085	-	23,678	-	16,893	-	8,730	-	13,441	4支援拠点の合計値
		サロン活動の開催箇所数	-	-	21	-	22	-	33	-	-	44	-	40	-	49	-	48	
		健康増進センターの体操教室の開催数	72	-	102	-	76	-	111	-	112	-	98	-	59	-	72	-	

### (2) 地産地消の推進と食に関する知識・文化の普及

目標	事業名	実績														備考・補足		
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)	
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)
2 地産地消の推進と食に関する知識・文化の普及	学校給食における北本産食材の使用割合を増やす	1	未把握	1	22	1	21	1	19	1	16	1	18	1	16	0	0	

目標	事業名	実績														備考・補足		
		26		27		28		29		30		31(R1)		32(R2)			33(R3)	
		回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)		回数(回)	延べ人数(人)
2 地産地消の推進と食に関する知識・文化の普及	いつも親子で楽しみながら食べる家庭の割合を増やす	24	311	24	250	24	280	24	250	24	229	22	197	26	210	24	162	
	9か月児育児相談栄養指導	24	256	24	232	24	156	24	200	24	221	24	188	12	113	24	133	